

令和2年度 県民文化大学講座

～中国古典の名文を読む～

日本と中国は、古くから交流が盛んであり、中国の文化は、共通の文字である漢字によって伝えられ、中国で書かれた漢文は、長く教養として、多くの日本の文化人に親しまれてきました。

今回は、中国における漢文の名文を読み、当時の時代背景などを学びます。

回	日 程	テ ー マ
1	2020年6月25日(木)	韓愈(退之) [768～824] 「原道」「師説」
2	7月16日(木)	柳宗元(子厚) [773～819] 「捕蛇者説」
3	8月7日(金)	欧陽脩(永叔) [1007～1072] 「朋党論」 張載(横渠) [1020～1077] 「西銘」
4	9月17日(木)	王安石(介甫) [1021～1086] 「原過」
5	10月15日(木)	蘇軾(東坡) [1036～1101] 「留侯論」
6	11月19日(木)	朱熹(晦庵) [1130～1200] 「玉山講義」
7	12月17日(木)	陸九淵(象山) [1139～1192] 「王安石論」
8	2021年1月21日(木)	王守仁(陽明) [1472～1528] 「示弟立志説」
9	2月18日(木)	李贄(卓吾) [1527～1602] 「童心説」
10	3月18日(木)	呂坤(新吾) [1536～1618] 「憂危疏」

○会 場 アクロス福岡2階 セミナー室

○時 間 10:30～12:00

○受講料 1,000円

○講 師 福岡女子大学名誉教授 疋田 啓佑(ひきた けいゆう)氏

県民文化大学実行委員会 福岡県文化団体連合会